



令和5年1月29日(日)高鍋町小丸河畔運動公園多目的運動広場にて、第16回高鍋ロータリークラブ杯ラグビー・ミニラグビー大会が開催されました。この時期に開催されるのは、実に3年振りでした。今大会は、未だ新型コロナウイルス感染拡大が続く中でもありましたので感染防止対策を徹底し、参加チームを県内のみ制限させていただきました。この日も寒波の続く影響がありましたが、幸い天候にも恵まれ日中は気温も上昇しとても過ごしやすく、競技をする子供達は大量の汗を流すほどのコンディションとなりました。



開会式では、今大会を主催頂いている高鍋ロータリークラブ会長 野添 勝久様他来賓の方々々に祝辞と選手へのエールをいただきました。子供達は、そのお言葉に応えるように大きな返事をしていました。

午前10時に各カテゴリー一斉にキックオフ！今大会は、変則的ではありますが、各カテゴリー2パートに別れラウンドロビン方式（勝敗、順位を決めるリーグ戦）と交流戦にて実施しました。



試合は、各カテゴリー大変白熱したゲームを繰り広げていました。特に高学年（5, 6年）は、これまでの練習や様々な大会等で試合を重ね、さらにはプレーの技術や人間性としても大きく成長をした姿で随所に素晴らしいプレーを見せてくれました。中学年（3, 4年）、低学年（1, 2年）に関してもボールに集中し、コートを広く走り回る姿はとても頼もしさを感じました。結果的に各カテゴリーの順位はつきましたが、どのスクールもまだまだ伸び代を感じさせる内容であったと思います。



昼休み中に、高鍋ロータリークラブ杯恒例の幼児のラグビーエキシビジョンマッチが本部席前で行われました。4チームできるほど、未来のラグーキッズが集まりました。ラグビースタイルの幼児の中に私服の子供達が5名参加してくれました。応援にきていた子供達でした。それぞれに対戦し、ラグビーを取ったり走りこんでトライを決めたりする姿がとても微笑ましかったです。未経験で急造チームの私服軍団も負けていません。お互いに2本ずつトライを決め、引き分けノーサイド！とても盛り上がりました。参加した子供達は、ロータリークラブより参加賞も頂き満足の様子でした。



エキシビジョンマッチ第2弾として、各スクールの「お母



さんラグールズ対抗戦」を実施しました。3 スクールごとの巴戦で交流を深めていただきました。安全なスポーツのタグラグビーが時折、ハッスルしすぎてあわやタックル！をしそうな瞬間がみられ、ハラハラさせるシーンもありました。お母さんのエキシビジョンマッチの目的としては、タグラグビーを通じて子供との会話を増やすこと、そしてラグビーの楽しさを母親からも発信していただきながら仲間を増やすきっかけを作ることでした。短いプレー時間でしたが、出場していただいた方も応援された方々もみんな素敵な笑顔でした。ラグビーの素晴らしさを感じた瞬間でした。

午後からの白熱したゲームもノーサイドを迎えました。試合を通じて県内のラグビースクール間の交流が深められ、チーム内では強く友情の絆が結ばれたことと思います。高鍋ロータリークラブ野添会長のお言葉にもありましたように、次回は以前のように県外チームにも参加して頂き、もっと大きな規模のロータリークラブ杯となるように我々も協働しながら盛り上げていきたいと思ひます。

今年はラグビーワールドカップイヤーです。参加した子供達の中から将来日本代表で活躍する選手が現れることを切に願っています。更には、5.6年生は2027国スポ宮崎のターゲットエイジでもあります。未来ある子供達のためにもラグビーを通じた普及育成活動を行いながら、県内6スクールが協力し、エンジョイラグビーを進めてまいりたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願いしします。

最後になりましたが、大会主催でもある高鍋ロータリークラブの皆様、並びに関係団体、関係者各位に改めまして深く感謝申し上げます。



高鍋ラグビースクール 中瀬 修

写真提供：高鍋ラグビースクール 吉玉一敬